

歯科治療の考えを伝える/カウンセリング

講師：若林 建史先生

日時：平成24年8月19日(日)

場所：東京ステーションコンファレンス



鈴木 秀紀 (千葉県)

今回の講演会は残暑厳しい日でしたが、コデンタル参加型の研修会ということもあり会場内は今年の猛暑に負けずに大変な熱気に包まれており、例年通りかもしくはそれ以上の参加者が来場されたようでした。私どもの到着が講演開始ぎりぎりになってしまったこともあり、はじめに用意された130席はすでに満席となっており、急きょ追加で席を用意していただくほどの盛況でした。

この度の講師である若林健史先生は、歯科界でも著名な先生でありご存じの方も多いかと存じますが、私個人としては日本大学松戸歯学部12期上の先輩であり以前から同窓会の学術委員会などと一緒にさせていただく機会がありました。他大学も同じだったと聞きますが、私が学生時代は体育会系の上下関係が厳しく気軽に先輩と話せるような感じであ

りませんでした。委員会でご一緒した時の印象では、後輩にもよく気を使っていたかきユーモラスで非常に温かな方だと思いました。しかしながら今回の講演で、しゃべり口調はいつものようにやさしいのですが、実は診療には非常に熱い先生だなと少し印象が変わりました。

先生のご開業は、東京・恵比寿駅一代官山駅の間の一等地で、住宅街の中のビルの3階、ほかにも多くの歯科医院が乱立する中で特に看板も出さず（若林先生曰くひっそりと）にほとんど紹介で患者さんが来院されるだけだそうです。その中で自費診療を中心に診療されているとのことでした。講演中にもご紹介ありましたが、自費診療を行っていく上で一番心がけていることとして、最初に一人一人の患者さんと向かい合う時間（カウンセリング）を1時間か



スタッフ向け研修会

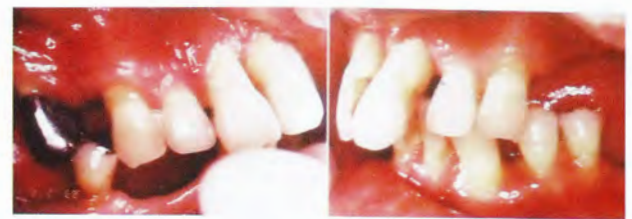
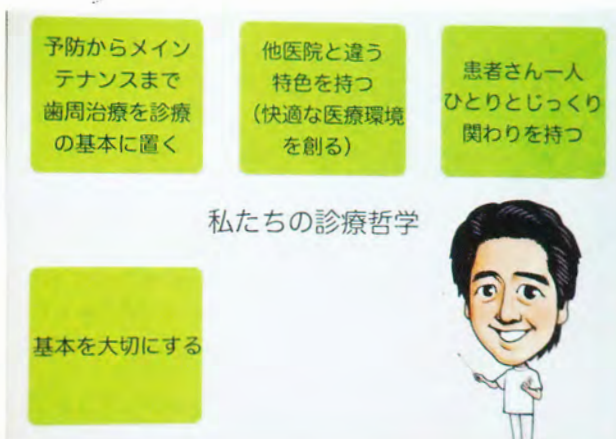
ら2時間かけて行っているとのことでした。

このカウンセリングは、検査結果の報告だけでなく
 医院の歯科治療に対する考え方を理解してもらう
 ことを目的に行っているとのことでした。その時間で
 患者さんの

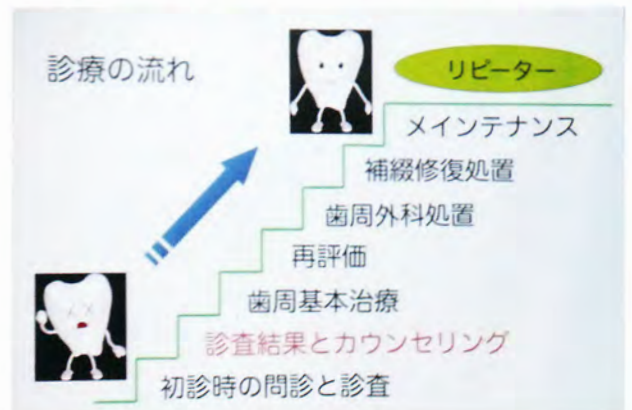
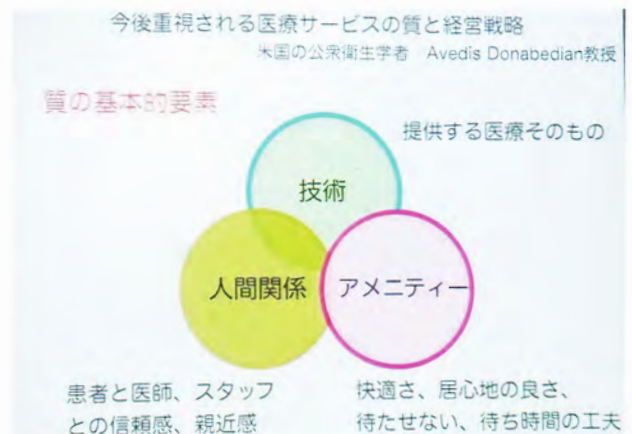
- ① 診査結果の報告
- ② 理想的・長期的治療計画の揭示
- ③ 費用の揭示
- ④ 医院の歯科治療への考え方を理解してもらう
- ⑤ 個性を知ってもらう (院長の理念、信念、方針、
 人柄など)

など、その患者さんを幸せにしたいと思う熱意を
 このカウンセリングで患者さんに伝えているとのこ
 とでした。恥ずかしながら、自院のスタッフも参加
 しており後日ミーティングにて、スタッフとともども
 私も日々熱意をもって診療はしているものの、時間
 に追われる診療体系の中、果たしてどれだけ患者さん
 に私たちの理念・信念が伝わっているのかスタッ
 フを含め改めて考えさせられるお話でした。今度同窓
 のご縁からのご厚意で、医院に見学に行ける機会を
 いただきましたので、治療技術だけでなく患者さん
 とのコミュニケーション術も是非学ばせて頂きたい
 と思っております。

私の勝手な感想となりましたが、講演会の報告と
 させていただきたいと思います。研修会担当委員
 の先生方におかれましては大変お疲れ様でした。毎
 年スタッフとともども参加を楽しみにしておりますの
 で、ご準備大変だと思いますが来年もまたよろしく
 お願いいたします。



治療計画の立案



歯周基本治療は衛生士の腕のみせどころ

歯周病の80%は基本治療で治療

- 1 スケーリング、ルートプレーニング
- 2 口腔清掃法の指導（ブラッシング指導）
- 3 う蝕治療（歯内療法、要抜去歯の抜歯、歯の分割、歯根切断）
- 4 歯の小矯正（MTM）
- 5 動揺歯の暫間固定
- 6 選択割合による咬合調整
- 7 再評価
- 8 資料の収集



治療の単純化のためのインプラント治療

本当に患者さんのQOLを考えた治療計画？



価値観の変化

口腔の健康に対する価値観を高める
あなたの歯ってあなたにとってどんな価値がありますか？

美味しく食べるため
人と会話するため



健康でいるため
若く見せるため

恋愛をするため

Dental IQの向上
優先順位を高める

インプラント埋入のための治療計画
VS
天然歯保存のための治療計画



VS



歯科治療を理解していただく為に

- 1 歯周治療を基本とした診療システムを構築すること
- 2 診査・診断を注意深くおこなうこと
- 3 時間をかけてカウンセリングをおこなうこと
- 4 ビジュアルな説明をおこなうこと

